

亀さん通信

夏本番を迎えましたが、いかがお過ごしでしょうか！

亀のように歩みは遅くとも、『お金力』をしっかりと・確実に身に付けていただく【亀さん通信】第 118 号発信！

毎年お金が減っていく…

総務省の発表によると、モノやサービスの値動きを示す先月の全国消費者物価指数は、天候による変動の大きい生鮮食品を除いて、2010 年を 100 とした指数で 103.4 となり、前の年の同じ月を 3.3% 上回りました。内、消費増税分を除いた上昇率は 1.3% 程度。上昇は 13 ヶ月連続となり、**物価の上昇基調は続く**とみられています。モノの値段が上がって喜ぶ庶民はいないと思いますが、実は、**困ることが他にもある**のです。

2012 年までの日本経済はまぎれもなく**デフレ状態**が続いていました。デフレとは、**モノの値段が全体的に下がり、お金の価値が上がる**こと。例えば、2 本 200 円だったバナナが 4 本 200 円になれば、同じ 200 円で買えるバナナの本数は増えます。つまり、バナナ（モノ）の値段が下がり、お金の価値が上がったということ。これがデフレです。物価がどんどんと下がるわけですから、投資や資産運用をしなくても、現金を保有さえしていれば、**自然とお金の価値は上がっていった**のです。

しかし、13 年に入って、環境は一変しつつあります。いわゆる「アベノミクス」です。アベノミクスの三つの基本方針の中には「大胆な金融政策」という項目があり、そこには「2%のインフレ目標」「無制限の量的緩和」「円高の是正」などがうたわれています。いずれも**日本経済のデフレ解消を狙った政策**といえるもので、すでに、為替市場では円安が進み、株式市場も大きく上昇しました。

ただし、少し冷静なって今後について考えてみると、気になることが…。アベノミクスでは「2%のインフレ目標」が明確な政策目標として掲げられています。インフレとは、**モノの値段が全体的に上がり、お金の価値が下がる**こと。前述のデフレとは反対で、**自然とお金の価値が下がって**いきます。そのため、個人にとっては投資や資産運用が不可欠の時代に入りつつある、ということがハッキリしてきました。

仮に、毎年 2%のインフレ（物価上昇）が続いたとするとどうなるか。ざっくりいうと、単に現金を保有しているだけでは、**毎年 2%ずつ現金が目減り**することになります。10 年間経ってしまうと、実質的な目減り分は 20%にも達します。

今後は、**更なる消費税の引き上げ**も予定されており、現金を持っているだけでは、不利な状況に陥ってしまうでしょう。これまで、コツコツと貯蓄をしてきた人にとっては、アベノミクスは**逆風になりかねない側面**があるのです。したがって、投資や資産運用をしてお金を増やすことを考えなければなりません。増やすことは難しいまでも、せめて物価が上昇する分はお金を増やして、目減りを防ぎたいところです。実際に、年 2%程度の利回りならば、それほどのリスクを取らなくても、**十分に達成できる水準**です。

今年 1 月からの 6 ヶ月間に、野村証券など主要証券会社 10 社で NISA 口座を開き、実際に株式や投資信託などを買った投資家が 105 万人にのぼったようです。とはいえ、下手に焦ってマスコミや金融機関に踊らされる必要はありません。**みなさんそれぞれのペースで投資の世界をのぞいてみてはいかがですか！**

暑い日が続きます。体にはくれぐれもお気をつけください。

(株)亀山保険事務所 亀山裕弘 (ミソロ) 1 級ファイナンシャル・プランニング 技能士 0575-28-2768 info@kameyama-hoken.com

